

1. 科目名 (単位数)	知的障害教育 I (2 単位)	3. 科目番号	SSMP3448						
2. 授業担当教員	工藤 傑史		SCMP3448 SBMP3448						
4. 授業形態	講義、グループ討議	5. 開講学期	春期						
6. 履修条件・ 他科目との関係									
7. 講義概要	本講義では、知的障害を伴う児童生徒を対象に、インクルーシブ教育時代の教育理念や実践の概要を学ぶ。障害のある人への人権意識や倫理観、それらを支える条約や法令、知的障害の特性及びその特性に対応した教育課程、しばしば合併する自閉スペクトラム症、てんかんやアレルギー疾患、言語代替コミュニケーションを含めた各種療育技法の基礎知識、及び幼児期から成人期までを見通して多様かつ変化するその実態を捉える資質を培う。								
8. 学習目標	<p>【期待される効果】以下に関して理解し、説明することができる。</p> <p>①知的障害を伴う人の人権、支援する側の倫理観。</p> <p>②知的障害教育に関連する法令や学習指導要領の内容。</p> <p>③知的障害、発達障害、自閉スペクトラム症、てんかん等の定義、特性や対応。</p> <p>④知的障害教育に特有の「各教科等を合わせた指導」の内容・方法。</p> <p>⑤個別の教育支援計画・個別の指導計画等の特徴。</p>								
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	適宜、ワークシートによる課題及び小テストを実施します。								
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】 ①玉村公二彦・清水貞夫ほか編著『新版キーワードブック 特別支援教育』クリエイツかもがわ、2019。</p> <p>②文部科学省『特別支援学校学習指導要領解説 総則等編(幼稚園・小学部・中学部) (平成 30 年 3 月)』開隆堂、2018。</p> <p>【参考書】 ①文部科学省『特別支援学校幼稚園教育要領 小学部・中学部学習指導要領 (平成 29 年 4 月)』海文堂出版、2017</p> <p>②文部科学省『特別支援学校学習指導要領解説 自立活動編(幼稚園・小学部・中学部) (平成 30 年 3 月)』開隆堂、2018。</p> <p>③文部科学省『特別支援学校学習指導要領解説 各教科等編 (小学部・中学部) (平成 30 年 3 月)』開隆堂、2018。</p> <p>*教科書①、②は必須、特別支援学校教員採用試験を受ける人は参考文献①②③も購入してください。</p>								
11. 成績評価の規準と 評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1. 特別支援教育の理念と制度の概要を理解したか。</p> <p>2. 知的障害・発達障害の定義や特性を理解したか。</p> <p>3. 知的障害教育の教育課程、特に「各教科等を合わせた指導」の法的根拠や背景、内容を理解したか。</p> <p>○評定の方法</p> <p>以下を総合的に検討し、判断する。</p> <table border="0"> <tr> <td>1 授業での態度</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>2 小テスト・課題研究</td> <td>総合点の 30%</td> </tr> <tr> <td>3 期末試験</td> <td>総合点の 40%</td> </tr> </table> <p>*なお、本学規定の「3/4 以上の出席」が単位修得の条件です。</p>			1 授業での態度	総合点の 30%	2 小テスト・課題研究	総合点の 30%	3 期末試験	総合点の 40%
1 授業での態度	総合点の 30%								
2 小テスト・課題研究	総合点の 30%								
3 期末試験	総合点の 40%								
12. 受講生への メッセージ	我が国においても共生社会の実現に向けての動きが加速的に進み、今年度は延期された東京オリンピック・パラリンピックの開催を迎え、特別支援教育を取り巻く状況も大きく変化しています。今、教育現場では何が始まっているのか、またどんな人材が求められているのかを考えながら、知的障害教育の実践をじっくり学んでいきましょう。								
13. オフィスアワー	1 回目の講義でお知らせします。								
14. 授業展開及び授業内容									
講義日程	授業内容	学習課題							
第 1 回	オリエンテーション 障害児教育の動向	事前学習	pp. 12-13 「ノーマライゼーション」について調べておく。						
		事後学習	日本の「障害者基本計画」への影響についてまとめておく。						
第 2 回	インクルージョンとインクルーシブ教育	事前学習	教科書 pp. 14-17 「インクルーシブ教育」、教科書 pp. 18-23 「障害者権利条約」「合理的配慮」について調べておく。						
		事後学習	「インテグレーションとインクルージョン」の違いを確認しておく。						
第 3 回	特別支援教育への国際的な流れ	事前学習	教科書 p. 17 「ウォーノック報告」とは何か調べておく。						
		事後学習	「ウォーノック報告と障害児の権利に関する条約、インクルーシブ教育との関係についてまとめておく。						

第4回	国際障害分類と国際生活機能分類	事前学習	教科書 pp.160-161「ICF」とは何か調べておく。
		事後学習	ICIDHとICFの違いを説明できるようにしておく。
第5回	特別支援教育の理念	事前学習	教科書 pp.30-31、特に「特別支援教育の理念」を読んでおく。
		事後学習	「特殊教育と特別支援教育の違いを説明できるようにしておく。
第6回	知的障害児の就学	事前学習	教科書 pp.66-67を参考に、知的障害児が就学するまでの育ちの経過を掴んでおく。
		事後学習	新しい就学相談のしくみについて説明できるようにしておく。
第7回	知的障害教育の教育課程① －特別支援教育の法的な位置づけ－	事前学習	特別支援学校学習指導要領解説 総則等編 pp.412-420「付録：参考法令」、教科書 pp.74-75「特別支援教育の学習指導要領と教育課程」を読んでおく。
		事後学習	特別支援学校の目的を示す法律や、知的障害教育の教育課程の根拠となる法令を確認しておく。
第8回	知的障害教育の教育課程② －各教科等を合わせた指導・自立活動－	事前学習	教科書 pp.78-79を読んで、「各教科等を合わせた指導」や「自立活動」の概要を掴んでおく。
		事後学習	「各教科等を合わせた指導」とは何か、法令や学習指導要領解説に基づき説明できるようにしておく。
第9回	知的障害に合併する疾患① －ダウン症－	事前学習	教科書 pp.182-185「知的障害」「ダウン症」を読んでおく。
		事後学習	早期診断の必要性について自分の考えをまとめておく。
第10回	知的障害に合併する疾患② －自閉症スペクトラムとその周辺－	事前学習	教科書 pp.188-191「ADHD」「自閉症スペクトラム(ASD)」を読んでおく。
		事後学習	「発達障害」の2つの概念について整理しておく。
第11回	知的障害に合併する疾患③ －てんかんとその対応－	事前学習	教科書 pp.196-197「てんかん」を読んでおく。
		事後学習	学校場面での発作に対応できるように、ポイントをまとめておく。
第12回	知的障害に合併する疾患④ －肢体不自由や重症心身障害、その他の概要－	事前学習	教科書 pp.192-193「脳性麻痺」、pp.204-205「重症心身障害児」を読んでおく。
		事後学習	教師が行なう医療的ケアのポイントをまとめておく。
第13回	知的障害教育における指導技法① －TEACCHプログラム－	事前学習	教科書 pp.136-137を読んで、TACCHプログラムについて知っておく。
		事後学習	各指導技法について簡単に説明できるようにしておく。
第14回	知的障害教育における指導技法② －SST、その他－	事前学習	教科書 pp.138-141「SST」「問題行動の指導」を読んでおく。
		事後学習	授業で覚えた専門用語の意味を再度確認し、理解できていないものをリストアップしておく。
第15回	知的障害教育で使う用語 まとめ	事前学習	授業で覚えた専門用語の意味を調べておく。
		事後学習	期末試験に向けて、これまでに学習したことを再確認する。
期末試験			